

語学研修 修了報告書

参加プログラム	春期キングストンプログラム	国名	イギリス	氏名 (イニシャル)	M.S.
学籍番号		学科	国際関係学科	研修時の学年	1年
留学期間	2020 年 2 月 ~ 2020 年 2 月			記入年月日	2020 年 4 月 13 日

① 研修前について

研修の準備について教えてください。

出発前:	参加意思決定	2019 年 10 月 日頃
	ビザ申請(あれば)	年 月 日頃
	ビザ交付(あれば)	年 月 日頃
		年 月 日頃
		年 月 日頃

準備・手続きについての感想や、今後参加を希望する学生にアドバイスがあれば教えてください。

パスポートなどの書類は行くと決めたらすぐ期限を確認しましょう。もし切れていた場合、顔写真を用意するなどいろいろと面倒ですが再発行する必要があります。発行には数週間要するので、ギリギリで間に合わないということがないようにしましょう。また、準備は早め早めのほうが良いです。出発日が学年末テスト後の日曜日だったので、テスト勉強と準備を並行できていなかった私は、テストが終わった金曜日から深夜まで準備をするはめになってしまいました…。例えば海外対応のドライヤーを買ったが不良品だったということが友達はあったので、早めに準備をして確認しておいたほうが良いと思いました。

日本から持参すべきと思ったものはありましたか。

ホストファミリーが貸してくれる場合もあるかもしれませんが、自分の洗濯物を干すためのハンガー、小さい洗濯ばさみがたくさんついた洗濯ハンガー、洗濯ネットは持っておいたほうが良いです。また、イギリス専用の電気プラグは必須です。また、変圧器を使って日本のドライヤーを使った友達は、故障を起こして煙が出ていたので、海外対応のドライヤーを買ったほうが良いと思います。

研修前にしておいてよかったことや、しておけばよかったことはありましたか。

研修前は単語や簡単な日常会話の勉強をしていました。それはそれでよかったのですが、実際に会話してみると、基本的な相槌があまりできませんでした。自分に英語での相槌のストックがなかったからです。滞在中に調べて今ではいろいろな相槌を知りましたが、最初から最低限の相槌は知っておくべきだと感じました。日本人は会話の場面で人が話しているのを聞くとき黙ってうなずくときもよくありますが、海外の人は必ず何かしら反応を言語化していました。だから少し慣れないかもしれませんが、会話のキャッチボールの基本として、相槌の引き出しを豊富に持っておくことはとても重要です。

研修に参加する目標は何でしたか。

日本にいると生の英語に触れる機会が少ないので、イギリスに行って、イギリスの文化、生活を現地の人から英語で学ぶことで、多くのことを学べるということが私にとってのこの留学の利点でした。だから、ホストファミリー、大学の先生、知らない人にもどんどん自分から話しかけることが目標でした。

② 研修先でのオリエンテーションについて

研修先でのオリエンテーションはどういった内容だったかをお書きください。

研修においての主任であるアレックス先生が、パワポを用いて大学施設、交通機関、簡単なロンドンの紹介、文化などを説明してくれました。現地の英語が聞き取れるか心配でしたが、ゆっくりはっきり話してくれたもとても聞き取りやすかったです。

③	プログラムについて
	研修場所の環境、治安、設備について教えてください。
	環境、治安はとても良かったです。夜でも明るく人通りが多かったのが、帰りが少し遅くなるときでも安心でした。一つ気になったのは、ロンドンのトイレが全体的に流れにくいかもしれませんが、よく入っていやな思いをかなりしました。
	現地学生との交流について教えてください。
	日本にとっても興味がある方が多く、話題にあまり困ることがありませんでした。漫画やアニメ、音楽などの話題は盛り上がりました。同じ若者なのでイギリスではやっているものなど直に聞けてとても楽しかったです。先生方よりやはり口調が速いので、若干？になるところがありましたが、皆さん面白かったです。
	授業の感想
	先生方全員が、話す英語の口調、速さ、語彙に気をつけて授業を進めてくれたので、ついていけないということが全くありませんでした。授業内容も毎回変えて発言方式だったので主体的に学びました。週に二回くらい課外授業の形で、ロンドン塔やハンプトンコートにも連れて行ってもらえました。本当に学びが多く楽しかったです。
	授業以外の部分についての感想
	ホストファミリーが本当に素敵なお家族で、毎日家に帰るのが楽しみでした。双子と一緒にゲームしたり、一緒にご飯を食べたり、たくさんのことを教えてくれました。とてもやさしく、どんなときも助けてくれて、この研修で一番の経験ができるホームステイ先でした。感謝してもきれません。本当の家族と同じように接しつつ、プライベートも尊重してくれました。本当にこの家族と一緒に過ごせたことは一生の思い出です。
④	研修先での危機管理について
	ご自身の身を守るために、気をつけることや、意識したことがあったら教えてください。(例:その国(州)独特の法律やルール等)
	パスポートは持ち歩かない、荷物は前に抱える、夜はなるべく出歩かない
	研修校先の担当者から、危機管理について特にアドバイスされたことがあれば教えてください。
	ロンドンでは決して治安がいいとは言えないので夜遅くは出歩かないこと、一人での行動は避けること、リュック、カバンはすられる可能性が高いので、外出先常に目を離さないこと、エスカレーターや混雑した場では荷物は前に抱えること、必要以上の現金は持たないこと、黒いタクシーは旅行客を狙ったぼったくりである可能性が高いので乗らないこと
	危機管理の観点から、病気等を含め、何かトラブルはありましたか。あった場合、どのように対処しましたか。
	特になかったです

⑤ 研修先での生活について

どのような住まいでしたか。

二人でホームステイしましたが、それぞれに部屋が用意されていました。三階建てで一階はリビング、二階は部屋が三つあって双子との寝室と私たちの部屋で分けられていました。三階は大人が使っていました。浴室やトイレは二つあったので、重なることなく楽でした。犬が一匹いましたがとてもお利口でした。不自由なことはなかったです。

暮らしてみた感想について教えてください。

自分の家族以外で、しかも海外の方と暮らすのは初めてだったので最初は戸惑いしましたが、やさしく受け入れてもらったので困ることはなかったです。生活習慣やシャワーの時間が普段と異なるのでそこは気を使いましたが、自分の部屋(もともとは双子の部屋ですが空けてくれました)があるので落ち着いて生活できました。

食事について、何か感想があれば教えてください。

イギリスでの食事はまずいと聞いて身構えていましたが、全くそんなことはなかったです。でもやはり日本食が恋しくなるし、日本での食事が一番おいしいと感じました。一度あまりに和食が食べたくなくて現地で人気の日本食チェーンに行きましたが期待外れでした。やっぱり日本の和食が一番です。スーパーやレストランのできあいのものを買ったり、簡単なサンドイッチを作ったり、マックやサブウェイ、ケンタッキーなどいろいろ食べていたので飽きることはなかったです。

⑥ 研修先での金銭面について

実際にかかった費用を記入してください。(プログラム費、教材費、お小遣い、その他)

プログラム費 約60万円、現地にもっていったお小遣い 2万円分の17ポンド、外食やお土産でのクレジットカードでの買い物代 約5万円

研修先の国の物価は高い/安いですか。買い物など便利ですか。

物価は総じてかなり高いです、外食も高く何をやるにも結構な値段でした。よかったのは、ほとんどすべての店でカード払いが普及しているのでどんな小さい買い物でもクレジットカードで払えたことはとても楽でした。

お金はどのように管理しましたか。(クレジットカード、現金等)

とりあえずの現金2万円分の17ポンドと、足りなくなった分はカードで払っていましたが、現地でかなり節約しても、物価が高く観光もすると七万円くらいはかかりました。人によって違いますが、5万~10万円はかかると考えたほうがよいです。あと、私は現金を先に使ってしまったので、研修の最後での集金や、割り勘したいときなどとても困ったので、現金は最後まで残しておいたほうが良いと思います。

⑦ 研修の成果について

今回の研修を経て、ご自身の中での学習面・精神面の成果があれば教えてください。

日本でもコミュニケーションをとることは大事ですが、その手段のひとつである言葉が英語となるととっさに出てこない、自分の言いたいことが的確な言葉で言えない、そういった面でもとてもストレスを感じ悔しい思いをたくさんしました。それを乗り越えるために、誰かが使った表現をまねる、反応を大きくする、ジェスチャーを工夫するなど英語力だけでなく日本でも生かせる力がついたと思います。また多くの人々に会ったことで、どうしたらこの目の前にいる人とうまくやれるかを考えて臨機応変に対応することができるようになりました。ホストファザーが世界一周をしたのち教師になった方で、とても考えが柔軟でやさしく、そうした今後目標にしたいような素晴らしい人々に出会い、努力していきたいと感じるようになりました。また、語学面では、日常的な英語を使えるようになり、特にリスニング力がついたと一番実感しています。実際研修前と研修後でtoeflのスコアが約30点上がっていました。

⑧ その他

その他、気づいたことや今後参加する方へのメッセージがあれば記入してください。

このプログラムに参加するか迷っている人は、絶対参加して後悔しないと自信をもって言えます。何よりイギリスのイメージが大きく変わり、大好きな国になりました。また必ず行きたいです。もし行くとなったら絶対にしてほしくないことは、ホームステイ先で自分の部屋にこもってしまうことです。せっかく海外に来ているし、ホストファミリーが一番長くとも過ごす人なのに、去年はすぐ部屋にこもったり外出してしまったりして全く交流ができず残念だったとホストファミリーが言っていました。どうせもう会わないし部屋を貸してもらっているだけの人と思わず、積極的に話して、この研修がお互いにとって後悔なく素晴らしい思い出になってほしいです。研修では語学も大事ですが、現地であった人々と交流していくことが私は何より大事だと思います。日本に帰ってきてもっと話せたのにと後悔することがないよう、積極的にはなしてみてください。みんな流ちょうに話せないとわかっているのに、しっかり聞いてくれます。最初は勇気があるかもしれませんが、この研修に参加して、前向きな姿勢で臨めば、素晴らしい一生の思い出がきっとできるはずです。私は今もホストファミリーや現地の学生と手紙やSNSで交流しているくらいです。ぜひ海外が初めてだったり、英語が不安だったりするからといって身構えずに興味があったら思い切ってぜひこの研修に参加してみてください！ かけがえのない三週間が過ごせるはずです！